

ロジカルシンキング・ライティング研修

1. 研修の目的

難しい課題に取り組む際に、また、上司や同僚、住民の皆様とコミュニケーションを取る際に、論理的に考え、さらにその内容を表現する力が求められます。その際に重要なことは、論理的思考の構造を理解し、何度も訓練と実践を繰り返し、論理的思考の癖付けを行うことです。

そのため、当研修では、座学にて論理的思考法の基本編(1日目)と実践編(2日目)についてお伝えし、練習問題(PW)を多く取り入れ、思考の癖付けを行います。2日目の終盤では、論理的に考えた内容を文章により表現し、発表するグループワークを行い、能力向上の確認を行います。

2. 研修内容

対象者：一般職員～中堅職員

時間	第1日目 内容 (基本編) ～論理的思考法の基本を知る～	第2日目 内容 (実践編) ～構造的にアプローチする～
9:00	<p>1. 研修の目的と全体像の確認</p> <p>2. 論理的思考法の必要性を確認 ～論理的思考があるケースとないケースを比較～ 1) 整った論理構造の全体像を確認する 2) 整った論理構造の特徴を掴む</p> <p>3. 2つの場面における論理的思考法の使い方 ～理解、判断、対話における論理的思考法～ 1) 演繹的思考 (PW) 2) 帰納的思考 (PW) 3) 演繹的思考と帰納的思考は繋がっている 4) 論理が崩れるポイントを押さえる ・演繹的思考の場合 (各項目でPW実施) ① ルールの誤り ② ルールの省略による誤解 ③ ルールとケースが合っていない ・帰納的思考の場合 (各項目でPW実施) ① 事実情報の誤り ② 軽率なルール化 ③ 特定サンプルを全体サンプルとする誤り ～問題解決における論理的思考法～ 1) 因果関係(結果と原因)を把握する思考 ① 因果関係が成立する条件 ② 因果関係の証明精度は8割でOK ③ 因果関係のパターンを知る 2) 原因の追究方法 ① 横展開(ほぼMECEに全体把握) ② 縦展開(なぜ×5回で本質を掴む) 3) 因果関係が崩れるポイントを押さえる (各項目でPW実施) ① 直感 ② 必ずしも相関関係=因果関係ではない ③ 原因と結果の取り違え ④ 直近錯誤 ⑤ 目的と手段の設定ミス</p>	<p>1. 1日目の振り返り</p> <p>2. 本質的な問題の解決、説得力のある対話、これらに必要なことは事象や論理を構造化すること 1) なぜ構造化が必要か 2) 本質的な問題の解決における事象の構造化 ① ロジックツリー (PW) ② 因果の構造化 (PW) 3) 説得力のある対話における論理の構造化 ～ピラミッド型に構造化する～ ① 目的を特定する ② 論理の枠組みを決める(フレームワークの活用) ③ 情報を枠組みを使ってグルーピングする ④ グルーピングの結果、何が言えるのか(キーメッセージ) ⑤ 最終的なメッセージを作る ⑥ 全体 check(本当にそう言えるか)(メインメッセージ) ⑦ 練習問題</p> <p>3. 論理的思考の文章化 ～ピラミッド構造による文章化～ 1) ピラミッド構造と非ピラミッド構造の文章比較 2) 構成:メインメッセージ→キーメッセージへ 3) 文章のみで表現する場合(レポートなど) ① 箇条書きは避ける ② ピラミッド構造を接続詞、助詞で繋ぐ (簡単に解釈できる文章にする) ③ 練習問題</p> <p>4. グループワークによる実践 ※ テーマはご相談の上決定</p> <p>5. まとめ</p>
16:30		